

みずほCustomer Desk Report 2024/08/27号(As of 2024/08/26)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	143.58
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	143.92	1.1190	161.10	1.3215	0.6787
SYD-NY High	144.65	1.1201	161.44	1.3221	0.6798
SYD-NY Low	143.45	1.1150	160.52	1.3181	0.6768
NY 5:00 PM	144.52	1.1161	161.28	1.3187	0.6772
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,240.52	65.44	日本2年債	0.3600%	▲0.0100%
NASDAQ	17,725.77	▲ 152.03	日本10年債	0.8800%	▲0.0100%
S&P	5,616.84	▲ 17.77	米国2年債	3.9368%	0.0300%
日経平均	38,110.22	▲ 254.05	米国5年債	3.6674%	0.0275%
TOPIX	2,661.41	▲ 23.31	米国10年債	3.8189%	0.0246%
ソコ`日経先物	38,065.00	▲ 300.00	独10年債	2.2475%	0.0240%
ロンドンFT	-	-	英10年債	3.9390%	0.0275%
DAX	18,617.02	▲ 16.08	豪10年債	3.8760%	▲0.0530%
ハンセン指数	17,798.73	186.63	USDJPY 1M Vol	12.68%	0.24%
上海総合	2,855.52	1.15	USDJPY 3M Vol	11.67%	0.04%
NY金	2,555.20	8.90	USDJPY 6M Vol	10.61%	0.01%
WTI	77.42	2.59	USDJPY 1M 25RR	▲2.43%	Yen Call Over
CRB指数	281.97	3.25	EURJPY 3M Vol	10.18%	▲0.02%
ドルインデックス	100.85	0.13	EURJPY 6M Vol	9.73%	0.10%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
8月26日	14:00	日 景気一致指数・確報	6月	113.2	-
	17:00	独 IFO企業景況感指数	8月	86.6	86
	17:00	独 IFO現況指数	8月	86.5	86.5
	17:00	独 IFO期待指数	8月	86.8	85.8
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月	9.9%	5.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	7月	-0.2%	-0.1%

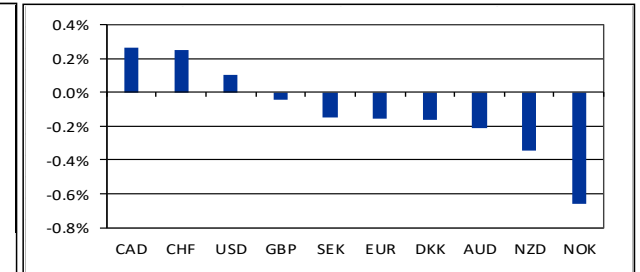
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
8月27日	15:00	独 GDP(前期比)・確報	2Q	-0.1%	-0.1%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月	100.9	100.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-145.50	1.1050-1.1200	160.50-162.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間143円後半でスタートしたドル円は、金曜日のパウエル議長の発言を受けたドル売りが先行して一時143円前半を付けるも、その後はロンドン休場となる中、米金利上昇を受けた買戻しが入り144円台へ。デイリーサンフランシスコ連銀総裁のパウエル議長をフォローする発言があったものの反応は薄く、ドル高の展開が続き、144円半ばでクローズ。

本日のドル円は堅調な展開を予想。米国の9月利下げが確実視され、足元年初来最安値近辺まで円高が進行する中、さらなる円高材料がすぐに出てくるとは考えにくい。米国の利下げ期待がさらに一段と加速し辛い現状においては、水準感からドル円を買いに行きやすい地合いと考える。

東京	東京時間のドル円は143.92レベルでオープン。金曜日のパウエル議長の発言を受けたドル売りが先行し一時143.45を付ける。その後は材料に乏しくも合いが続き、143.87レベルで海外に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台前半でスタート。オープン直後は先週金曜のパウエル議長の利下げ時期が近付いているとの発言が意識され、143.45まで値を下げる。その後は米長期金利が上昇する展開受け買い戻しが優勢となり、144.15レベルでNYオープン。朝方は米7月耐久財受注(前月比)が予想を上回り、ドル買いが優勢となり、144.60付近まで買われる。午後はデーリー・サンフランシスコ連銀総裁が利下げ開始が適切になったとの考えを示すも、ドル円は反応薄。その後もドル高の展開が続き、144.65まで上値を伸ばし、その後144.52レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.11台後半でスタート。独8月IFO企業景況感指数が予想を上回るも、ユーロ買い要因とはならず。その後はじり安で推移し、1.1165レベルでNYオープン。午前中は1.1178まで戻す場面もあったが、続いて米金利が再度上昇した事が重しとなり、1.1160近辺まで反落。午後は1.1170近辺を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.1161レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。